

平成29年度事業計画

1 基本計画

安倍内閣が重点を置いてきた経済基盤の強化策は、米国の政権交代と相まって円安を誘発し輸出に依存する産業には好況をもたらしています。

これらの事象が我が国経済の先導役となり、国内では求人が雇用を上回る有効求人倍率 1.0 以上の状態が一昨年から続いています。

しかし、求人はあっても労働を担う労働力人口は激減しており、労働力需要に供給が追いつかない状況です。併せて労働力需要の多くは期間を比較的短期に設定し契約を結ぶ非正規雇用であり、当然賃金も低めに設定されます。

このような状況を受けて、企業や労働行政を担う国の機関は、その供給元を 65 歳以上の層に特化し、昨年来各地で高齢者向けの就職セミナーを開設しています。

ちなみにこのことは、シルバー人材センターに入会する人の減少に直結します。このため、南部広域シルバー人材センターでは、平成 27 年度から理事と職員がペアを組み、入会の可能性のある人の家庭を訪問しシルバー人材センターの説明、入会の勧誘などを行ってきました。このことが功を奏して、毎年 40 人超の退会者があるなかで総会員数は前年とほぼ同数を保ってきました。会員数については、今後は現状維持から拡大の方向で努力を重ねてまいります。

また、地域では、生産年齢人口の減少と高齢化率の上昇に伴い、前期高齢者が地域社会やそこに暮らす後期高齢者の暮らしを支えるという構図が一般的なものとなりつつあります。

それに伴い当センターでは、農地や宅地の草刈りやお墓の掃除、家事援助等の就業依頼が徐々に増加する傾向にあります。これらの就業は、従来お客様が自ら行っていたことが、高齢のためできなくなり、シルバーに依頼するケースが大半です。

「地域とくらしを守る」という使命を担う公益社団法人としては、今後とも地域の暮らしや産業などを支える就業活動を通じて、幅広い分野で会員の力、組織の力を発揮してまいります。

2 事業実施計画

(1) 公益社団法人としての事業運営

公益社団法人に移行後 5 年目を迎える本センターは、今後とも公益社団法人としてふさわしい運営基準と関係法令を遵守した事業の運営に努め、活力ある高齢社会を支える地域の中核組織として、地域社会から従来以上に幅広い理解と協力が得られるよう信用性、公益性、透明性の高い事業運営に努めます。

併せて、公益社団法人の使命として、業務を通じて地域の課題解決や人々の暮らしを支える活動、地域産業の支援等にも積極的に取り組むことに努力を注いでまいります。

(2) 就業機会の拡大

平成 28 年度実績をみますと、派遣、請負の総契約額は前年より若干上向き傾向にあります。これは前出の地域の高齢化の進展により、従来自らが行っていた家や宅地、農地の管理等をシルバー人材センターに依頼する人が増加していることも

一因となっています。

とはいうものの、長期的展望に立って考えた場合、受注の拡大は常にセンター経営の基軸に据えなければならないことと考えます。このため、今後とも就業機会の確保については従来以上に力を入れた取り組みを継続します。

上記の具体的な取り組み内容は以下のとおりです。

- ① 平成27年度から派遣事業の実績で国の補助金が算出される制度が導入されたため、派遣就業の開拓には重点的に取り組みます。
加えて、昨年度に引き続き職員（業務係）4名は、「就業開拓推進員」を兼務し、日常の業務に就業の開拓を取り入れ、企業や官公庁、学校、保育園、個人宅の訪問を実施します。
- ② 平成27年2月に開設したホームページの活用による、南部・伯耆両町エリア外からの受注の拡大につとめます。
- ③ 就業開拓組織部会並びに職員による受注可能な職域の調査・研究及び企業訪問を行います。
- ④ 南部・伯耆両町のイベント等の機会を捉え、シルバー業務の周知を図ります。
- ⑤ 行政や学校、エリア内企業に対する企画提案を行います。
- ⑥ 新聞やテレビ、ラジオ等の媒体を活用し、シルバー業務の周知を図ります。
- ⑦ 広報紙によるシルバー業務の周知を図ります。
- ⑧ 一般家庭に対する訪問活動による受注の拡大を図ります。

(3) 会員の新規加入促進

会員の増強は、シルバー人材センター事業の根幹をなすものです。発注者の多様なニーズに対応するためには、健康で働く意欲のある会員の確保に努め、組織の安定を図ります。

平成29年度に実施を予定する活動は以下の通りです。

- ① 会員募集チラシの配布。
- ② 就業開拓推進員による「シルバー人材センターのご案内」の個別配布
- ③ ホームページによる会員の募集
- ④ 役職員及び会員による、友人、隣家への一声運動
- ⑤ 新しい分野の就業開拓による新規会員募集
- ⑥ 南部・伯耆両町のイベントでの会員募集の周知活動
- ⑦ なんぶSANチャンネル、おにっ子テレビによる会員募集
- ⑧ 広報（年2回）による募集
- ⑨ 入会説明会 毎月第3水曜日
- ⑩ 南部シルバー親睦会の結成（研修旅行、各種趣味サークル活動、スポーツ活動）
- ⑪ 女性会員拡大を目指した女性会員による懇談会の開催
- ⑫ 就業を目的とした技能講習の開催
 - 1) 剪定講習会
 - 2) 刈払い機講習
 - 3) ふすま・障子貼り講習
 - 4) 家事支援講習
 - 5) その他、シルバーの就業に必要な技能の講習

(4) 普及啓発活動

シルバー事業の理念、意義を地域の方々に広くご理解頂くために、全戸配布の広報紙「南部シルバーだより」を年2回発行します。

また、当センターのホームページを活用して普及啓発を図ります。11月には、南部・伯耆両町の公共施設の除草やせん定などのボランティア活動の実施、さらに南部・伯耆両町のイベントで宣伝活動など地域社会に向けて広く普及啓発活動を行います。

また、本年度も南部、伯耆両町内のみなさまを対象に、高齢者の健康に係る講演会を実施し、シルバー事業の啓発に努めます。

(5) 適正就業の推進

適正な就業形態については、平成23年度から労働者派遣事業の導入など関係法令の遵守に努めているところですが、引き続き、適正な就業形態を目指し、法令を遵守した就業を進めてまいります。また、会員に均等な就業機会を提供することにより、未就業会員の解消に努めます。

(6) 安全就業の徹底と会員の健康管理

「安全は、すべてに優先する。」を合言葉に、会員同士で日頃から声をかけ合うなど、就業途上や就業中の事故防止に努めます。また、安全だよりの発行、理事、安全就業対策委員、安全就業推進員のパトロールによる個別指導を行うとともに年に1回、安全就業研修会を実施し、また、入会説明会時には、安全就業研修を実施し、安全に関する啓発に努めます。

会員の健康管理については、町が行う集団検診に積極的に参加するよう勧めてまいります。

① 安全就業対策委員会の開催

安全就業対策委員による安全パトロール 年2回

② 理事による安全パトロール

③ 安全就業推進員によるパトロール 南部、伯耆地区ごとに月2回

④ 職員による就業現場のパトロール 随時

⑤ 新規加入会員への安全就業研修 年12回

⑥ 安全だよりの発行 年5回

⑦ 安全就業研修会（交通安全を含む。）年1回

⑧ 会員への健康診断のよびかけ

会費納入時に健康管理について聴き取りを行う。

(7) 会員の意識と技能の向上

シルバーの基本理念である、「自主・自立・共働・共助」を会員がよく理解し、誠意をもって就業するよう新入会員説明会などで徹底してまいります。

また、会員及び南部町、伯耆町在住の高齢者に連合会主催の各種講習会への参加を呼びかけるとともに、当シルバー人材センター独自に講習会を開催し、就業に必要な技能習得と後継者の育成に努めます。

(8) 事務局業務の効率化について

インターネット環境の整備による文書等の送受信の迅速化、低コスト化、インターネットバンキングの導入など、事務の効率化を図ってまいりました。これらにつきましては、今後とも継続して取り組んでいきます。

(9) 会員の福利厚生

公益社団法人への移行に伴い、シルバー主催のイベントへの参加に対して会員への補助ができなくなりました。今後は、会員の自己負担額ができるだけ少ない事業を工夫し、会員相互の親睦を図る活動を今まで以上に実施してまいります。

平成29年度目標

(1) 請負

	会員数 (人)	受注件数 (件)	就業延日人員 (人)	契約金額 (千円)
29年度 目標	400	4,000	24,000	120,000
28年度 実績	374	3,345	23,482	117,290

(2) 派遣

	会員数 (人)	受注件数 (件)	就業延日人員 (人)	契約金額 (千円)
29年度 目標	—	22	8,500	27,000
28年度 実績	—	25	8,072	26,313